

事務事業調書

平成26年度

事業No	621	課	浄水管理事務所	係	管理係	起案者	小林律夫
						決裁者	山下孝
事務事業名	浄・配水場施設を活用した発電事業				事業種別	施設管理	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり			予算科目(会計)		
	3 水循環			予算科目(款・項・目)		
	1 上水給水			総合計画以外の計画		環境基本計画
	3 健全経営			関連する総合計画の施策		
	1 健全経営			性質区分	市の内部事務事業	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営		委託先			
実施期間	開始	平成17年度		経過	9年目	
				終了	平成46年度	
求める成果(目的)	誰(受益者)が	水道事業者が浄・配水場施設を有効活用し			~になる	電気を発電する
事務事業の内容	浄・配水場施設の有効利用し、県水の水頭圧を利用した水力発電(中部配水場)や配水池上部の空間を利用した太陽光発電(北部浄水場)に取り組み、水道事業の経営環境を改善するとともに、大量の電気を消費する施設から施設内で発電することで自然環境への負荷の軽減を図る。					
改善・対策の履歴	<ul style="list-style-type: none"> ・ H20水力発電装置の制御設備に修繕が発生 ・ H23水力発電機に修繕が発生 					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	5,303	218	0	0	158,490
財源計	4,673	92	0	0	156,600
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	4,673	92	0	0
	一般財源	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費(従事職員数)	630 (0.10)	126 (0.02)	0 (0.00)	0 (0.00)	1,890 (0.30)
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	水力発電設備整備	見込	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	整備事業(一式)	活動の総事業費(千円)	0	0	0	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	0.00	0.00	
活動2	活動名 (活動内容)	太陽光発電設備設置及び整備	見込	0.00	0.00	0.00	1.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	整備事業(一式)	活動の総事業費(千円)	0	0	0	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	0.00	0.00	
活動3	活動名 (活動内容)	水力発電及び太陽光発電設備の維持管理	見込	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績	1.00	1.00	0.00	
	指標名 (単位)	維持管理事業(1式)	活動の総事業費(千円)	5,303	218	0	
			活動にかかるコスト(千円)	5,303.00	218.00	0.00	

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	太陽光発電(売電電力量-受電電力量)(万kwh)		目標	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況		
成果2	水力発電量(自己消費電力量+売電電力量)(万KWh)		目標	157.00	135.00	246.00	280.00
			実績	135.00	246.00	280.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	・25年度には水力発電機が一年を通じて安定的に運転させることができた。
----	-------------------------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト		・水力発電機の故障が発生しなかったため、活動コストを抑えることができた。
成果		・成果1については、平成26年度内に設備を設置し、平成27年度からの設備の安定的稼働を目指します。 ・成果2については、平成25年度内に故障が発生しなかったことに加え、県水の受水ラインの見直しを図り、より効率的な発電機の稼働を確保することができたため、発電量を増加させることができた。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
・水力発電機の不具合の早期発見に努め、故障期間の短縮化を図ります。また、今後もより多くの発電量を確保できる運転方法の検証をします。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	・水力発電機と太陽光発電設備の安定的な稼働について、日々の点検を通じた不具合箇所の早期発見に努めます。また、施設で使用する電力量の削減に努めます。

事務事業調書

平成26年度

事業No	622	課	浄水管理事務所	係	管理係	起案者	小林律夫
						決裁者	山下孝
事務事業名	原水及び県水受水事業				事業種別	施設管理	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 1 上水給水 1 水の安定供給 1 水資源の確保			予算科目(会計)		
				予算科目(款・項・目)		
				総合計画以外の計画		第5次拡張事業
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	市の内部事務事業	
根拠法令	有	水道法				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	昭和31年度	経過	58年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民(給水対象者)が			~になる	安定した水道水の供給を受ける
事務事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・水道水の安定供給を目的として、自己水源(井戸水)からの取水量と県水受水量を定めた取水計画を策定し、計画に従って水道水の原水管理を行います。 ・自己水源(井戸水)は経年劣化するので、劣化状況を把握し、計画的にしゅん濇などを実施し、自己水源の確保に努めます。 					
改善・対策の履歴	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な自己水源を安定的に確保するため、水源の劣化状況が見られる2つの自己水源について、しゅん濇を実施し、水源の能力回復を行いました。 ・水源の劣化状況をより正確に把握するため、各水源の稼働状況を一定化した上で、毎月取水能力を測定記録し、経年的なデータを収集に努めるようにしました。 					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	1,147,869	1,184,493	1,171,980	1,169,891	1,213,254	
財源計	1,144,089	1,177,437	1,165,554	1,163,465	1,206,135	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他()	1,144,089	1,177,437	1,165,554	1,163,465	1,206,135
	一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	3,780 (0.60)	7,056 (1.12)	6,426 (1.02)	6,426 (1.02)	7,119 (1.13)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	県水受水量	見込	14,000.00	14,500.00	14,500.00	14,400.00
			実績	14,444.00	14,520.00	14,430.00	
	指標名 (単位)	受水量(千m3)	活動の総事業費(千円)	1,095,662	1,088,865	1,074,894	
			活動にかかるコスト(千円)	75.86	74.99	74.49	
活動2	活動名 (活動内容)	自己水源取水量	見込	6,000.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00
			実績	6,151.00	6,163.00	6,185.00	
	指標名 (単位)	取水量(千m3)	活動の総事業費(千円)	12,683	11,939	12,968	
			活動にかかるコスト(千円)	2.06	1.94	2.10	
活動3	活動名 (活動内容)	水源及び取水・受水施設の工事	見込	2.00	9.00	10.00	4.00
			実績	8.00	6.00	4.00	
	指標名 (単位)	件数(個所)	活動の総事業費(千円)	39,524	83,689	82,029	
			活動にかかるコスト(千円)	4,940.50	13,948.17	20,507.25	

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	年間取水受水量(千m3)		目標	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績	20,594.00	20,680.00	20,615.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成
成果2	水道水に占める自己水率30%以上(%)		目標	30.00	30.00	30.00	30.00
			実績	29.70	29.70	30.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成

5 成果1、2以外の成果

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・安定的に自己水源から取水できたため、県水受水量を計画とおり受水することができました。 ・平成25年度には自己水源から安定的に取水することができたため、水道水に占める自己水率30%を達成することができました。
----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	<ul style="list-style-type: none"> ・県水受水量については、受水量が増加したため、単位コストの削減をすることができました。 ・自己水源については、日常点検を通じて取水設備の不具合の早期発見に努めたことで大きな故障を未然に防ぐことができたため、安定的な取水が可能となり、自己水の単位コストの削減をすることができました。 ・平成25年度には劣化がみられた2つの水源についてしゅん濇を行ったため、工事費が大きくなり単価コストの増加と重なってしまった。 	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・水需要量の増加に伴い、年間取水量は増加しました。 ・日常管理における設備故障を未然に防ぐことができ、取水設備を安定的に稼働させることができたため、水道水に占める自己水率30%を達成することができました。 	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<ul style="list-style-type: none"> ・県水受水については、必要となる受水量を随時見直し、県水給水計画に反映することで県水道料金の縮減に努めます。 ・自己水源については、安全で安定した取水量を確保するため、水質及び水量を適正に観測し、適切な維持管理を実施するとともに計画的な修繕、改修を行っていきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<ul style="list-style-type: none"> ・自己水源取水量の安定確保と県水受水量の適正管理により、需要量に見合う水源の確保を図っていきます。

事務事業調査

平成26年度

事業No	623	課	浄水管理事務所	係	管理係	起案者	小林律夫
						決裁者	山下孝
事務事業名	浄水及び配水事業				事業種別	施設管理	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 1 上水給水 1 水の安定供給 3 計画的な施設の整備・更新			予算科目(会計)		
				予算科目(款・項・目)		
				総合計画以外の計画	第5次拡張事業	
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	市の内部事務事業	
根拠法令	有	水道法				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	昭和34年度	経過	55年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民(給水対象者)が		~になる	いつでも安全で安心な水道水を利用できる	
事務事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 自己水源から取水した井戸水を浄水場内の設備を使って浄水処理し、水道法に適合した水道水を作ります。 県水及び自己水源から浄水処理して作った水道水を配水池を経由して、配水ポンプにより市内各所へ給水します。 水道水の安定供給を実現するため、計画的に設備の更新やオーバーホールを実施するとともに、故障時には速やかな復旧に努め、水道水の安定供給を目指します。 					
改善・対策の履歴	<ul style="list-style-type: none"> 施設内の各設備の磨耗劣化状況を考慮し、平成26年度には北部浄水場における5号配水ポンプを整備し、安全性の向上を図ります。 					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	193,507	142,416	159,474	117,873	97,530
財源計	179,647	131,328	152,922	111,321	90,726
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	179,647	131,328	152,922	111,321
	一般財源	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	13,860 (2.20)	11,088 (1.76)	6,552 (1.04)	6,552 (1.04)	6,804 (1.08)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	浄水及び配水施設工事	見込	6.00	3.00	4.00	1.00
			実績	6.00	3.00	4.00	
	指標名 (単位)	工事件数(件)	活動の総事業費(千円)	117,745	61,043	44,363	
			活動にかかるコスト(千円)	19,624.17	20,347.67	11,090.75	
活動2	活動名 (活動内容)	浄水及び配水管理	見込	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00
			実績	20,549.00	20,645.00	20,518.00	
	指標名 (単位)	年間配水量(千m3)	活動の総事業費(千円)	66,860	67,504	71,494	
			活動にかかるコスト(千円)	3.25	3.27	3.48	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	水道水の供給困難事故発生件数(件)		目標	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成
成果2	年間配水量(%)		目標	100.00	100.00	100.00	100.00
			実績	100.00	100.00	100.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	<ul style="list-style-type: none"> 施設内の設備の日常点検を通じて、故障の未然防止に努めることができました。
----	----------------------------------------------------------------------------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト		<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度には予定していた工事の件数が少なかったため、単位コストは減少しました。
成果		<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度に予定していた工事を実施することができ、施設の安定稼働という目標を達成することができました。 平成25年度の年間配水目標量を上回ることはできたものの、年間配水量は減少傾向となっています。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<ul style="list-style-type: none"> 年間配水量が減少傾向であり水道料金収入の減少が考えられることから、施設整備においては、地震防災施設整備事業と整合を図り計画的に設備更新による工事コストの縮減を実施していきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な施設整備を実施することで、給水能力を確保し水道水の安定供給を図ります。

事務事業調書

平成26年度

事業No	624	課	浄水管理事務所	係	施設係	起案者	杉浦良二
						決裁者	山下孝
事務事業名					施設保守管理事業	事業種別	施設管理

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり			予算科目(会計)		
	3 水循環			予算科目(款・項・目)		
	1 上水給水			総合計画以外の計画		
	1 水の安定供給			関連する総合計画の施策		
	2 良質な水の供給			性質区分	市の内部事務事業	
根拠法令	有	水道法				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	一部委託	委託先	民間企業			
実施期間	開始	昭和61年度	経過	28年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民(給水対象者)			~になる	良質な水の供給を受ける
事務事業の内容	・市民が良質な水の供給を受けることができるように浄・配水場施設の機器保守点検、施設清掃等管理を行います。					
改善・対策の履歴	<ul style="list-style-type: none"> ・S61 北部、H02 南部汚泥処理開始 ・H01 計装設備点検開始 ・H11 南部、H12 中部、H13 北部緊急遮断弁点検開始(追加) ・H21 発電機点検開始 ・H22 水質計器点検開始 ・H23 中部 3号配水池供用開始 ・H25 北部 新1号配水池供用開始 					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	23,247	23,772	30,823	22,921	32,059
財源計	17,325	17,850	24,901	16,999	27,712
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	17,325	17,850	24,901	16,999
一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費(従事職員数)	5,922 (0.94)	5,922 (0.94)	5,922 (0.94)	5,922 (0.94)	4,347 (0.69)
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	設備機器保守管理委託	見込	10.00	10.00	10.00	10.00
			実績	10.00	10.00	10.00	
	指標名 (単位)	委託事業(件)	活動の総事業費(千円)	13,179	12,983	13,047	
			活動にかかるコスト(千円)	1,317.90	1,298.30	1,304.70	
活動2	活動名 (活動内容)	施設管理委託	見込	10.00	10.00	10.00	10.00
			実績	10.00	10.00	10.00	
	指標名 (単位)	委託業務(件)	活動の総事業費(千円)	7,941	7,903	7,302	
			活動にかかるコスト(千円)	794.10	790.30	730.20	
活動3	活動名 (活動内容)	汚泥処理委託	見込	140.00	140.00	95.00	110.00
			実績	100.00	95.00	110.00	
	指標名 (単位)	処分量(m3)	活動の総事業費(千円)	2,127	2,020	2,100	
			活動にかかるコスト(千円)	21.31	21.26	19.09	

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	施設設備機能不全数(個)		目標	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	1.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成
成果2	業務委託件数(件)		目標	20.00	20.00	20.00	23.00
			実績	20.00	20.00	20.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・汚泥処理業務において、汚泥を多く含んだ水源からの取水量が多くなったことから、処理量が目標値以上となりました。 ・玉通しを年次計画どおり行うことができ送水コストを抑えることができた。
----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト		・設備機器保守管理業務及び施設管理業務については、請負金額の増加により、単位コストが減少しました。
成果		<ul style="list-style-type: none"> ・成果1 設備点検において、機能不全になる前の段階で支障となる箇所の対処ができ、運用に影響は出ませんでした。 ・成果2 設備機器保守管理業務及び施設管理業務は、予定どおりの件数を実施しました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
	<ul style="list-style-type: none"> ・浄・配水場の安全性を維持するため、施設等の適切な点検を実施していきます。 ・設備機器の保守管理については、定期点検の結果をうけ予防保全に努めます。ただし、バックアップ設備が存在する場合は、経済性を考慮し事後保全での対応を検討していきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	・浄・配水場施設及び設備の点検実施を継続し、安全性を確保します。

事務事業調書

平成26年度

事業No	625	課	浄水管理事務所	係	施設係	起案者	杉浦良二
						決裁者	山下孝
事務事業名					施設運転管理事務	事業種別	定型事務

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり			予算科目(会計)		
	3 水循環			予算科目(款・項・目)		
	1 上水給水			総合計画以外の計画		
	1 水の安定供給			関連する総合計画の施策		
	2 良質な水の供給			性質区分	市の内部事務事業	
根拠法令	有	水道法				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	一部委託	委託先	民間企業			
実施期間	開始	昭和34年度	経過	55年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が				~になる	
事務事業の内容	・浄・配水場施設の運転管理、県水受水量の調整、水道用薬品の管理注文及び電力・燃料の管理記録を行います。					
改善・対策の履歴	<ul style="list-style-type: none"> ・S63 中部浄水場を無人化し運転監視業務を北部浄水場に一本化 ・H05 施設運転業務一部委託開始(夜間) ・H09 施設運転業務一部委託拡大(夜間半分) ・H19 施設運転業務一部委託拡大(土日祝祭日昼間半分及び夜間半分) ・H20 施設運転業務一部委託拡大(土日祝祭日昼間全部及び夜間半分) 					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	58,552	57,743	59,182	57,617	60,495	
財源計	27,052	26,243	27,682	26,117	28,995	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他()	27,052	26,243	27,682	26,117	28,995
	一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	31,500 (5.00)	31,500 (5.00)	31,500 (5.00)	31,500 (5.00)	31,500 (5.00)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	電力、燃料管理記録	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	管理業務(一式)	活動の総事業費(千円)	4,599	4,599	4,599	
			活動にかかるコスト(千円)	4,599.00	4,599.00	4,599.00	
活動2	活動名 (活動内容)	浄水施設薬品の管理注文	見込	69.00	55.00	53.00	53.00
			実績	54.00	53.00	49.00	
	指標名 (単位)	注文回数(回)	活動の総事業費(千円)	8,813	9,296	9,170	
			活動にかかるコスト(千円)	163.20	175.40	187.14	
活動3	活動名 (活動内容)	浄配水場施設の運転管理、受配水量の調整及び記録	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	管理業務(一式)	活動の総事業費(千円)	45,140	43,848	43,848	
			活動にかかるコスト(千円)	45,140.00	43,848.00	43,848.00	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値	達成状況				
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値	達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	<ul style="list-style-type: none"> ・浄水施設薬品の管理注文については、濁度の高い水源からの取水量が増えたため、原水処理を行うため薬品使用量が増加しました。 ・浄配水場施設の運転管理、受配水量の調整及び記録については、運転管理業務委託分の請負が複数年契約となっておりコストは現状維持となっている。
成果	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<ul style="list-style-type: none"> ・浄配水場の安全運転を継続するため、運転マニュアルを随時見直していきます。また、業務委託業者との連絡を密にして、24時間不測の事態への対応ができる体制を整えていきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<ul style="list-style-type: none"> ・浄・配水場の運転管理業務の再任用及び業務委託を導入しており、よりいっそう業務の効率化を図ります。

事務事業調書

平成26年度

事業No	626	課	浄水管理事務所	係	管理係	起案者	小林律夫
						決裁者	山下孝
事務事業名	水質検査等事務				事業種別	定型事務	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 1 上水給水 1 水の安定供給 2 良質な水の供給			予算科目(会計)		
				予算科目(款・項・目)		
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	市の内部事務事業	
根拠法令	有	水道法施行規則第3条・10条・15条第1項第1号～4号				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	有	市民から水道水の安全性についての質問がある。				
実施方法	一部委託	委託先	民間企業, 行政関連団体			
実施期間	開始	昭和34年度	経過	55年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が				～になる	
事務事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 水道法に作成が義務付けられた水質検査計画を作成し、この計画に従って水源及び給水栓水の水質検査を行います。 検査項目のうち自己検査できない項目については、その検査項目を外部分析機関に委託しますが、それ以外は直営にて検査を実施します。 市民の方から寄せられる水道水質に関する相談には、必要に応じて採水し、水質検査を実施し、その結果を相談者に提供します。 					
改善・対策の履歴	<ul style="list-style-type: none"> 検査機器類の日常点検を実施し、不具合箇所の早期発見に努めました。 検査業務態勢を見直し、作業の効率性向上に努めました。 水質検査技術の精度向上を目的として、スキルアップ研修を実施しました。 二本木公民館主催のイベントで、水道水と市販ミネラルウォーターの飲みくらべを通じて、水道水のおいしさをPRしました。 					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	49,582	21,845	20,622	10,080	25,798	
財源計	33,076	10,505	10,542	0	16,978	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他()	33,076	10,505	10,542	0	16,978
	一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	16,506 (2.62)	11,340 (1.80)	10,080 (1.60)	10,080 (1.60)	8,820 (1.40)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	水質に関する検査業務(水源、給水栓水の検査)	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	委託検査(式)	活動の総事業費(千円)	9,871	10,133	11,739	
			活動にかかるコスト(千円)	9,871.00	10,133.00	11,739.00	
活動2	活動名 (活動内容)	水質に関する検査業務(水源、給水栓水の検査)	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	自己検査(式)	活動の総事業費(千円)	14,553	9,387	8,757	
			活動にかかるコスト(千円)	14,553.00	9,387.00	8,757.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況				
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト		<ul style="list-style-type: none"> 水質検査業務(委託)については、検査項目の見直したため、契約額が増額し単位コストが上がりました。 水質検査業務(自己)については、平成25年度に組織改正により職員数が削減されたため、単位コストが減少しました。 水質検査業務(自己)で使用する薬品については、検査回数の充実させたことにより、使用量が増加しました。
成果		

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
	<ul style="list-style-type: none"> 水質検査技術及び検査精度の向上のため、検査機関及び県担当部局との連携を継続的に図っていきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<ul style="list-style-type: none"> 常に衛生的で安全な水道水の供給をして、利用者に安心して飲んでいただくために、水道法に定められた水質検査を水質検査計画に基づき実施していきます。

事務事業調書

平成26年度

事業No	627	課	水道工務課	係	給水係	起案者	山村篤
						決裁者	山下孝
事務事業名	給水装置設置等申請審査事業				事業種別	定型事務	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり		予算科目(会計)			
	3 水循環		予算科目(款・項・目)			
	1 上水給水		総合計画以外の計画			
	1 水の安定供給		関連する総合計画の施策			
	2 良質な水の供給		性質区分	市の内部事務事業		
根拠法令	有	安城市水道事業給水条例				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成元年度	経過	25年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が				~になる	
事務事業の内容	新たに水道を開栓し、使用しようとする者から提出された給水装置新設等申込書を速やかに審査・承認するとともに配水管布設工事を発注し、早期に水道水を給水します。					
改善・対策の履歴	配水管布設を承認工事として申請者の手配で施行できるよう要綱を整備した。 給水基準を見直し、給水装置新設等申込書の記入方法を改めて各給水装置工事業者に通知するとともにホームページで公開した。 定型事務であることから、昨年度まで実施していた審査の所要日数および給水開始日数の成果指標は取りやめた。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	87,040	101,037	121,500	93,050	121,500
財源計	61,840	75,837	90,000	64,700	90,000
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	61,840	75,837	90,000	64,700
	一般財源	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	25,200 (4.00)	25,200 (4.00)	31,500 (5.00)	28,350 (4.50)	31,500 (5.00)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	給水装置新設等申込書の審査業務	見込	1,500.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00
			実績	1,391.00	1,610.00	1,900.00	
	指標名 (単位)	(申請件数)(件)	活動の総事業費(千円)	15,750	15,750	18,270	
			活動にかかるコスト(千円)	11.32	9.78	9.62	
活動2	活動名 (活動内容)	給水申込みに係る配水管布設業務	見込	60.00	60.00	60.00	60.00
			実績	52.00	60.00	59.00	
	指標名 (単位)	(布設件数)(件)	活動の総事業費(千円)	70,030	84,027	74,150	
			活動にかかるコスト(千円)	1,346.73	1,400.45	1,256.78	
活動3	活動名 (活動内容)	水道配水管ゲーター入力業務	見込	2,500.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00
			実績	2,580.00	2,630.00	1,600.00	
	指標名 (単位)	入力件数(件)	活動の総事業費(千円)	1,260	1,260	630	
			活動にかかるコスト(千円)	0.49	0.48	0.39	

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況				
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト		担当職員が増加しましたが、申請件数も増加したため、活動のコストはやや減少しました。活動の事業費に反映されない時間外勤務により補完しています。 配水管延長に係るコストは年々上昇しているが、1件当たりの施行延長が短くなったため、布設1件当たりのコストが安価になりました。
成果		

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<ul style="list-style-type: none"> 再任用職員を1名配置し、完了検査に係る負担を軽減し、給水相談、申請審査の充実を図ります。 審査の日数短縮については、今後も業者指導を行い市民サービスとして取り組みます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<ul style="list-style-type: none"> 開発業者や指定工事業者が事前の調査時に早期に申込するように依頼します。 申し込み前の調査および事前協議の機会を活用し、申請受付後に書類の訂正、追加などが無いようにします。

事務事業調書

平成26年度

事業No	628	課	水道工務課	係	工務係	起案者	若林康成
						決裁者	山下孝
事務事業名	応急給水対策事業				事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 1 上水給水 2 災害対策 2 応急給水の充実			予算科目(会計)				
				予算科目(款・項・目)				
				総合計画以外の計画		安城市水道事業地震防災施設緊急整備計		
				関連する総合計画の施策				
				性質区分	市の内部事務事業			
根拠法令	有	災害救助法第23条						
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	全部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	平成16年度	経過	10年目	終了	平成26年度	期間	11年
求める成果(目的)	誰(受益者)が	各避難所の被災者が			~になる	飲料水の個別確保が不要になる。		
事務事業の内容	被災直後の運搬給水の拠点となる施設で、市民による運搬距離を1km以内として配備します。設置箇所は、避難所13箇所、浄配水場3箇所、隣接市緊急連絡管6箇所の計22箇所を第一次給水拠点とし(総合計画)さらに、避難所2箇所整備します。							
改善・対策の履歴	場内の施設再配置計画に整合した実施設計を平成25年度に終え、北部浄水場内に応急給水拠点を整備します。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	7,856	0	7,356	4,333	61,414	
財源計	7,730	0	7,230	4,207	59,524	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他()	7,730	0	7,230	4,207	59,524
	一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	126 (0.02)	0 (0.00)	126 (0.02)	126 (0.02)	1,890 (0.30)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	応急給水拠点整備	見込	5.00	0.00	0.00	1.00
			実績	6.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	応急給水拠点数(箇所)	活動の総事業費 (千円)	9,797	0	0	
			活動にかかるコスト (千円)	1,632.83	0.00	0.00	
活動2	活動名 (活動内容)	応急給水拠点整備実施設計業務	見込	0.00	0.00	1.00	0.00
			実績	0.00	0.00	1.00	
	指標名 (単位)	(式)	活動の総事業費 (千円)	0	0	4,334	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	0.00	4,334.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	応急給水拠点整備率(事務事業)(%)			目標	95.80	95.80	95.80	100.00
				実績	95.80	95.80	95.80	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	西部公民館(8月22日)、中央公民館(8月29日)、南部公民館(9月18日)において、水道職員、防災危機管理課職員、公民館職員に避難所特命者も含めて、応急給水訓練を実施し、応急給水に対する方法を再確認し、意識の向上を図ることが出来ました。
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	平成25年度は、北部浄水場に応急給水施設を整備する実施設計を行いました。
成果	施設については、応急給水施設の訓練以外で使用することはありませんでした。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
平成26年度、場内の施設配置に整合した応急給水施設を北部浄水場内に整備します。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
休止・廃止・終了	本事業は、被災直後に市民の生命・生活に欠かすことのできない飲料水の運搬拠点となる重要な施設を整備するものであり、計画の第1次給水拠点24箇所の整備を完了する。

事務事業調査

平成26年度

事業No	629	課	水道工務課	係	工務係	起案者	若林康成
						決裁者	山下孝
事務事業名		区画整理区域内配水管布設事業			事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 1 上水給水 1 水の安定供給 3 計画的な施設の整備・更新			予算科目(会計)				
				予算科目(款・項・目)				
				総合計画以外の計画				
				関連する総合計画の施策				
				性質区分	市の内部事務事業			
根拠法令	有	水道法第1条						
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	全部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	昭和63年度	経過	26年目	終了	平成38年度	期間	39年
求める成果(目的)	誰(受益者)が	区画整理区域内の配水管が			~になる	区画整理事業に併せて整備される。		
事務事業の内容	区画整理事業との同調施工により、生活に欠かせない水道施設を整備し、安全安心・快適な住環境を提供します。なお、配水管には、耐震管(本管・取出し管)を採用し、安全な住環境の街づくりに心掛けます。							
改善・対策の履歴	施工箇所をまとめ、さらに、同調施工できるように工事発注を行い事務の効率化と経費の削減を図るため、事業者と連絡を密に事務を進めてまいります。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	59,185	50,167	85,947	59,170	126,169	
財源計	56,287	48,403	84,057	57,280	121,759	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他()	56,287	48,403	84,057	57,280	121,759
	一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	2,898 (0.46)	1,764 (0.28)	1,890 (0.30)	1,890 (0.30)	4,410 (0.70)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	区画整理・3地区	見込	2,038.00	4,531.00	2,853.00	4,235.00
			実績	1,681.00	3,227.00	2,093.00	
	指標名 (単位)	配水管整備工事(m)	活動の総事業費(千円)	93,228	50,167	59,170	
			活動にかかるコスト(千円)	55.46	15.55	28.27	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	区画整理区域内配水管整備率(%) 桜井地区(%)		目標	60.00	64.10	66.00	69.80
			実績	60.10	63.90	66.10	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	未達成
成果2	区画整理区域内配水管整備率(%) 南明治第一地区・第二地区(%)		目標	6.50	18.40	22.10	32.80
			実績	0.00	9.20	20.40	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成

5 成果1、2以外の成果

成果	水道配水管を耐震管にすることにより、区画整理区域内の地震時における安全性が高まりました。
----	----------------------------------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	道路築造工事と同調施工すること及び区画整理地区内の施工箇所をまとめて発注することができコストを削減できました。	
成果	工事発注については、区画整理事業者と協議、打合せを重ね事業者の発注に遅れることの無いよう設計、発注ができました。しかし、南明治区画に関しては、道路築造工事が繰越となったため、やむを得ず配水管布設も合せ繰越としました。これに伴い、南明治区画の成果指標は「未達成」となりました。	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
利用者に不便を与えずさらに事務の効率化と経費削減を図るため、一層綿密に事業者と協議を重ね、工事箇所の同時発注や他事業との同調施工を実施します。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	区画整理事業の進捗に併せて配水管を布設し、利用者の利便性を図るための事業であり、継続して実施してまいります。

事務事業調書

平成26年度

事業No	630	課	水道工務課	係	工務係	起案者	若林康成
						決裁者	山下孝
事務事業名	地震防災施設緊急整備事業				事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 1 上水給水 2 災害対策 1 被害発生抑制			予算科目(会計)				
				予算科目(款・項・目)				
				総合計画以外の計画		安城市水道事業地震防災施設緊急整備		
				関連する総合計画の施策				
				性質区分	市の内部事務事業			
根拠法令	有	大規模地震対策特別措置法・第7条						
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	有	24年6月 災害発生時の水道施設復旧体制について、9月 上下水道の耐震化について、25年3月 上水						
陳情・市民要望	無							
実施方法	全部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	平成16年度	経過	10年目	終了	平成35年度	期間	20年
求める成果(目的)	誰(受益者)が	水道利用者が			~になる	災害時に安定した水の供給が受けられる。		
事務事業の内容	平成14年4月に安城市が「地震防災対策強化地域」に指定されたことを受け、地震対策に重点を置いた、より災害に強く、信頼性の高い水道施設の整備に努め、その整備内容は、水道施設を5つの体系(1 基幹施設の耐震化、2 管路の耐震化、3 バックアップ対策、4 復旧対策、5 その他(施設の耐震化による設備の維持補修))に分類し、費用対効果の高い事業から実施します。							
改善・対策の履歴	管路の耐震化の進捗管理延長について、緊急輸送道路に埋設されている配水管の布設替(整備済)と重要幹線管路の布設替延長に見直し(重要幹線管路の布設替えに伴う配水支管布設延長を削除)、延長を40.9kmから35.5kmにしました。 平成26年度から北部浄水場を基点とした重要管路の耐震化及びブロック化のための布設替工事が始まりですが、施工条件に沿ったより経済的な布設替を実施していきます。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	316,304	450,845	683,797	559,972	343,489	
財源計	307,862	433,709	667,417	543,151	331,519	
財源の内訳	国庫支出金	36,000	17,772	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他()	271,862	415,937	667,417	543,151	331,519
	一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費(従事職員数)	8,442 (1.34)	17,136 (2.72)	16,380 (2.60)	16,821 (2.67)	11,970 (1.90)	
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	基幹施設の耐震化	見込	0.00	1.00	1.00	0.00
			実績	0.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	基幹施設の耐震化数(箇所)	活動の総事業費 (千円)	0	242,676	383,886	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	242,676.00	383,886.00	
活動2	活動名 (活動内容)	水道施設耐震化検討その他業務委託	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	(式)	活動の総事業費 (千円)	31,197	1,541	53,210	
			活動にかかるコスト (千円)	31,197.00	1,541.00	53,210.00	
活動3	活動名 (活動内容)	重要幹線管路の布設替(耐震化)	見込	1,471.00	1,040.00	293.00	600.00
			実績	1,658.00	1,059.00	295.00	
	指標名 (単位)	重要幹線管路の布設替延長(m)	活動の総事業費 (千円)	194,857	101,597	18,909	
			活動にかかるコスト (千円)	117.53	95.94	64.19	

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	浄・配水場施設における耐震化された施設の能力(%)		目標	35.70	61.90	61.90	67.20
			実績	35.70	61.90	61.90	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成
成果2	重要幹線管路の布設替率(%)		目標	7.40	13.50	14.90	17.90
			実績	8.20	13.50	14.90	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	重要幹線管路の布設替が23年度から開始され、震災に備えるため早期の完了が望まれます。しかし、幹線であるため管口径が大きく延長当たりの単価が高いことから布設替延長が伸びていません。
----	-------------------------------------------------------------------------------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	重要幹線管路及び北部浄水場濃縮槽耐震補強、北部浄水場旧1号配水池解体の実施設計を実施したため、前年と比べ委託事業費が上がりました。	
	基幹施設の耐震化は、平成24年度から繰り越した北部浄水場内新1号配水池が平成25年度に完成したため、平成24年度と平成25年度の合計が事業費となります。	
成果	重要幹線管路の布設替工事は、道路管理者と協議のうえ、片側車道分の舗装を行う事で老朽化した路面舗装のうち変えも同時に行うことができました。	
	平成24年度から繰り越した北部浄水場内新1号配水池が完成し、施設の耐震化能力が向上しました。	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
重要幹線管路の布設替や施設の耐震化は、早期に完了することが望まれているので、他の事業との優先順位を考慮して整備してまいります。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	この事業は第7次総合計画においても地震対策を重点に置いた災害に強い水道施設や、市民の生命や生活に欠かせない飲料水の確保が掲げられており、事業は継続して実施してまいります。

事務事業調書

平成26年度

事業No	631	課	水道工務課	係	工務係	起案者	若林康成
						決裁者	山下孝
事務事業名	水量不足地域配水管布設事業				事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 1 上水給水 1 水の安定供給 3 計画的な施設の整備・更新			予算科目(会計)				
				予算科目(款・項・目)				
				総合計画以外の計画				
				関連する総合計画の施策				
				性質区分	市の内部事務事業			
根拠法令	有	水道法第5条						
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	全部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	平成04年度	経過	22年目	終了	平成30年度	期間	27年
求める成果(目的)	誰(受益者)が	水圧・水量の不足する地域が			~になる	解消され、水の安定供給が可能になる。		
事務事業の内容	水量不足地域の解消を図るため、配水管の口径の増径やループ化により水の安定供給に努めます。							
改善・対策の履歴	今後とも市全体の管網や将来を見据えての事業を実施する。 平成26年度より水圧不足地域を水量不足地域とし、実質行っている水量不足箇所の解消業務に沿った事業名に変更する。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	0	0	20,504	2,054	20,630	
財源計	0	0	20,000	1,991	20,000	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他()	0	0	20,000	1,991	20,000
	一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	0 (0.00)	0 (0.00)	504 (0.08)	63 (0.01)	630 (0.10)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	水圧不足地域配水管布設	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	0.00	0.00	1.00	
	指標名 (単位)	水圧不足地域配水管布設 箇所数(箇所)	活動の総事業費 (千円)	0	0	1,991	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	0.00	1,991.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	水圧・水量不足に関する要望箇所の解消(箇所)			目標	1.00	1.00	1.00	1.00
				実績	0.00	0.00	1.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>これまでの対応によって、広域に及ぶ水圧不足地域は解消し、水圧・水量を安定供給することができました。しかし、開発行為等によって、新たに水圧不足地域が発生する恐れもあるため、今後も注意していきます。</p>
----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	<p>常時、水圧及び水量の安定供給ができましたが、平成25年度については、小規模のエリアで水量不足地域が発生しました。</p>
成果	<p>老朽管の布設替工事及び下水道布設に支障となる水道管の布設替工事に併せ、管網補強に取り組み、広域に及ぶ水量不足地域を未然に防止することができました。</p>

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<p>水量不足の解消方法については、市全体の管網や将来を見据えて決定していきます。</p>

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<p>広域において水圧・水量不足が予想される場合は、積極的な改善を図ります。</p>

事務事業調書

平成26年度

事業No	632	課	水道工務課	係	工務係	起案者	若林康成
						決裁者	山下孝
事務事業名					第5次拡張事業	事業種別	施設整備

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 1 上水給水 1 水の安定供給 3 計画的な施設の整備・更新			予算科目(会計)				
				予算科目(款・項・目)				
				総合計画以外の計画		第5次拡張事業計画		
				関連する総合計画の施策				
				性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの			
根拠法令	有	水道法第10条(事業の変更要件)						
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	有	平成10年6月議会・安城市水道事業第5次拡張事業の考え方について						
陳情・市民要望	無							
実施方法	全部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	平成10年度	経過	16年目	終了	平成26年度	期間	17年
求める成果(目的)	誰(受益者)が	水道利用者が			~になる	水需要の増加や渇水時にも水が安定供給され、生活が豊かになる。		
事務事業の内容	給水人口等の増加に伴い、平成10年度に平成22年度を目標とした第5次拡張計画の事業認可を取得しました。(計画給水人口178,100人、1日最大給水量90,800m ³)しかし、想定以上に人口が増加しているため、平成19年度に計画給水人口191,400人、目標年度を平成26年度まで延伸する届出を行っています。							
改善・対策の履歴	平成19年度、給水人口の急増により、厚生労働省に給水人口の変更届を提出し、併せて第5次拡張計画の目標年次を平成26年度としました。 平成23年度で、施設の整備は終了しています。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	426,304	0	0	0	0
財源計	418,870	0	0	0	0
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	418,870	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費(従事職員数)	7,434 (1.18)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	第5次拡張事業施設工事	見込	1.00	0.00	0.00
			実績	1.00	0.00	0.00
	指標名 (単位)	工事施設数(箇所)	活動の総事業費(千円)	426,178	0	0
			活動にかかるコスト(千円)	426,178.00	0.00	0.00
活動2	活動名 (活動内容)		見込			
			実績			
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)			
			活動にかかるコスト(千円)			
活動3	活動名 (活動内容)		見込			
			実績			
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)			
			活動にかかるコスト(千円)			

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	第5次拡張進捗率(%)		目標	100.00	100.00	0.00	0.00
			実績	100.00	0.00	0.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成		
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	平成23年度で施設整備は終了しています。
----	----------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	平成23年度で施設整備は終了しています。	
成果	平成23年度で施設整備は終了しています。	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
平成23年度で、施設の整備は終了しました。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性
休止・廃止・終了 本事業は、安城市水道事業の根幹を成し、平成26年度までの厚生労働大臣の認可を得て行っている事業です。平成26年度で終了します。

事務事業調書

平成26年度

事業No	633	課	水道工務課	係	維持係	起案者	伊藤洋一
						決裁者	山下孝
事務事業名	他事業に関連する配水管布設替事業				事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 1 上水給水 1 水の安定供給 3 計画的な施設の整備・更新			予算科目(会計)		
				予算科目(款・項・目)		
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	市の内部事務事業	
根拠法令	有	水道法 第5条				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	全部委託	委託先	民間企業			
実施期間	開始	平成18年度	経過	8年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	地域住民が		~になる	道路工事による通行制限を受けにくくなります	
事務事業の内容	道路整備工事および下水道工事等の他事業により支障となる既設配水管の布設替えを行います。他事業の工事と同調施工して無駄な掘り返しを無くすことでコストの縮減を図り、また、道路工事における通行規制期間を減らすことで地域住民の不便を極力少なくします。					
改善・対策の履歴	【H18年度】他事業の施工区域外でも、近接した箇所到老朽化した水道道配水管があれば、布設替えを行うことにしました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	328,667	268,397	386,538	242,710	446,395	
財源計	312,917	249,056	366,000	225,196	424,849	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他()	312,917	249,056	366,000	225,196	424,849
	一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	15,750 (2.50)	19,341 (3.07)	20,538 (3.26)	17,514 (2.78)	21,546 (3.42)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	他事業関連水道管布設替	見込	17.00	12.00	11.00	11.00
			実績	24.00	14.00	18.00	
	指標名 (単位)	布設替え(件)	活動の総事業費 (千円)	328,667	268,586	242,710	
			活動にかかるコスト (千円)	13,694.46	19,184.71	13,483.89	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	整備率=工事整備件数÷工事発注件数(率100%)			目標	100.00	100.00	100.00	100.00
				実績	100.00	100.00	100.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>道路および下水道等の他事業と同調して配水管布設替工事を行うことにより、コストの削減および掘返しを無くすことで地域住民の不便を少なくすることができました。また配水管の布設替にあわせて各家庭に引き込まれている給水管についても更新したため、経年劣化した金具やパッキンからの漏水が無くなりました。</p>
----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	他事業の工事の規模等の違いにより、前年度の活動コストと差異が生じました。
成果	他事業から支障移転依頼のあった配水管布設替工事は、予定通り完了することができました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
下水道事業や土木事業などから水道施設の支障移転依頼があった場合は、近接した場所の老朽管もあわせて布設替を行います。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	下水道事業や土木事業等から水道施設の支障移転依頼があった場合は上水道配水管の布設替は必要です。また、他事業の工事と同調して経年劣化した配水管を布設替を行うことにより工事コストが縮減できますので、他事業にあわせた計画的な水道施設の更新に努めます。

事務事業調書

平成26年度

事業No	634	課	水道工務課	係	維持係	起案者	伊藤洋一
						決裁者	山下孝
事務事業名	配水管維持管理事業				事業種別	施設管理	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり		予算科目(会計)			
	3 水循環		予算科目(款・項・目)			
	1 上水給水		総合計画以外の計画			
	1 水の安定供給		関連する総合計画の施策			
	2 良質な水の供給		性質区分	市の内部事務事業		
根拠法令	有	水道法 第5条				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	昭和30年度	経過	59年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	上水道利用者が		~になる	安定した水の供給を受けられるようになります	
事務事業の内容	上水道配水管の維持管理を行います。市民からの通報を受けた場合や巡視点検により漏水を発見した場合は、現地に急行して現業職員により修繕工事を行います。迅速な対応により水資源の有効利用および安定供給を図ります。					
改善・対策の履歴	【H18年度】市役所閉庁日の水道に関する連絡先を市役所当直から市内の水道業者に委託することにより、漏水事故等の対応を迅速にできるようにしました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	51,157	47,984	53,095	44,217	53,443	
財源計	13,987	10,814	22,225	13,347	22,573	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他()	13,987	10,814	22,225	13,347	22,573
	一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	8,405	7,882	10,215	8,151	10,164	
職員人件費 (従事職員数)	37,170 (5.90)	37,170 (5.90)	30,870 (4.90)	30,870 (4.90)	30,870 (4.90)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	水道施設点検・調査・立会	見込	872.00	1,020.00	1,202.00	1,374.00
			実績	1,020.00	1,202.00	1,374.00	
	指標名 (単位)	調査等件数(件)	活動の総事業費(千円)	16,460	17,016	13,985	
			活動にかかるコスト(千円)	16.14	14.16	10.18	
活動2	活動名 (活動内容)	漏水等の修繕	見込	1,534.00	1,548.00	1,544.00	1,437.00
			実績	1,548.00	1,544.00	1,437.00	
	指標名 (単位)	修繕等件数(件)	活動の総事業費(千円)	34,697	30,968	30,232	
			活動にかかるコスト(千円)	22.41	20.06	21.04	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	有効水率(%) = 漏水等損失した水量を除き有効に利用した配水量 ÷ 年間総配水量(%)		目標	97.76	97.55	97.45	97.97
			実績	97.55	97.45	97.97	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	達成
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	水道施設点検および漏水修理を随時行うことにより、漏水時間と断水時間が減り、上水道利用者の不便が軽減されました。また、現業職員の迅速な対応により漏水に伴う道路上での通行車両等への巻き込み事故を0件に抑えることができました。さらに、無効水量(配水量-有効水量)削減により健全な公営企業の運営を行うことができました。
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	活動1 点検、調査および立会い件数の違いにより、前年度の活動コストと差異が生じました。 活動2 漏水事故等の規模、内容および件数の違いにより、前年度の活動コストと差異が生じました。	
成果	点検、調査等により比較的少量の漏水を発見し修理したこと、および漏水事故等に迅速に対応したことで水資源の損失を最小限に抑えることができました。その結果、広範囲の断水および長時間の断水が無く、安心安全な水を安定的に供給することができました。	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
老朽化した配水管路等は今後さらに増えることが予測されます。今後も、現業職員による定期的な点検を継続して実施する必要があります。また、老朽施設の更新を推進するとともに、漏水等が多発する配水管路は、優先して布設替えることを検討します。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	市民ニーズの多様化により水道水は一時的にも断水できない日常生活において必要不可欠なものとなっています。特に、水を必要とする店舗および工場等においては、漏水事故により多額の損害を与える危険性も否定できません。そうした中で、現業職員による適切な維持管理および迅速な対応を行うことで、水資源の有効利用を図るとともに安心安全な水を安定的に供給することが可能です。

事務事業調書

平成26年度

事業No	635	課	水道工務課	係	維持係	起案者	伊藤洋一
						決裁者	山下孝
事務事業名					老朽管布設替事業	事業種別	施設整備

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 1 上水給水 1 水の安定供給 3 計画的な施設の整備・更新			予算科目(会計)				
				予算科目(款・項・目)				
				総合計画以外の計画				
				関連する総合計画の施策				
				性質区分	市の内部事務事業			
根拠法令	有	水道法 第5条						
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	全部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	平成19年度	経過	7年目	終了	平成33年度	期間	15年
求める成果(目的)	誰(受益者)が	水道利用者が			~になる	水道管の破断による断水被害を受けにくくなります		
事務事業の内容	平成18年度に策定した「老朽管布設替計画」に基づき、平成33年度までに老朽化した塩化ビニール製配水管φ75～150mmの約10.3kmを耐震性の強い高密度ポリエチレン製配水管に布設替えします。震災時の断水被害を軽減するとともに上水道配水管の劣化による漏水事故を減らし、水資源の有効利用および水道水の安定供給を図ります。							
改善・対策の履歴	【H24年度】漏水事故が多く、水道施設が劣化している配水管路線を優先して布設替するようになりました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	269,127	119,708	138,442	147,021	128,094	
財源計	255,897	110,069	130,000	135,555	120,660	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他()	255,897	110,069	130,000	135,555	120,660
	一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費(従事職員数)	13,230 (2.10)	9,639 (1.53)	8,442 (1.34)	11,466 (1.82)	7,434 (1.18)	
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	老朽管の布設替え工事	見込	4,980.00	2,120.00	1,860.00	1,860.00
			実績	5,100.00	3,853.00	1,966.00	
	指標名 (単位)	老朽管布設替え(m)	活動の総事業費 (千円)	269,127	119,708	147,021	
			活動にかかるコスト (千円)	52.77	31.07	74.78	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	布設替進捗率(%) 布設替完了延長(m)÷布設替計画延長(m)(%)		目標	31.06	33.23	36.72	38.62
			実績	31.18	34.91	36.82	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	老朽管の布設替にあわせて、各家庭へ引込まれている給水管についても更新したため、経年劣化した金具やパッキンからの漏水がなくなりました。
----	--------------------------------------------------------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト		前年度に比べ建設労務単価が上昇したため、活動コストが増加しました。また、老朽管の布設替え工事の規模および内容の違いにより前年度の活動コストと差異が生じました。
成果		計画的に老朽配水管の布設替を行うことにより、水道水を安定的に供給することができました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
上水道配水管の布設年次が古く、口径の大きい順に布設替えを行っていますが、漏水等が多い配水管路線は、優先的に布設替えを行います。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	地震災害に弱く老朽化した塩化ビニール管を耐震管にすることにより、災害時の被害を軽減できることから計画的な布設替を推進します。また、水道施設の経年劣化による漏水事故を無くすことで、水資源の有効活用を図り安定した公営企業の経営を行うことができます。